

お知らせ

令和5年第5回 栗原市議会定例会

- 日程・内容
 - 12月5日(火)本会議 会期の決定、議案の提案理由説明など
 - 12日(火)～14日(木)本会議 一般質問(個人質問) 議案の総括質疑など
 - 18日(月)各常任委員会・予算特別委員会 付託議案審査
 - 19日(火)本会議 各常任委員会・予算特別委員会委員長報告、質疑、討論、採決など
 - ※土・日曜日は休会
 - ※一般質問や議案の件数によって、会期を変更する場合があります。
 - 開会時間 午前10時～
 - ※12月19日(火)は、午後1時30分開会
 - 場所 市役所4階 議場
 - 傍聴 席数25席
 - ※車いすで傍聴できます。
 - 請願・陳情の提出 定例会で審査する請願または、紹介する陳情は、12月14日(土)正午まで、議会事務局へ提出してください。

議会中継の視聴方法
 議会の中継は、本庁舎および各総合支所のテレビで視聴できる他、パソコンやスマートフォンなどで市ウェブサイトの中継情報から、インターネット中継を視聴することができます。

URL https://smatdiscussvision.net/smart/tenant/kurihara/WebView/rd/council_1.html



令和6年度任期付市費負担教員採用試験

- 個別最適な学びと協働的な学びの充実を目指し、少人数での学級編成を行うため、任期付市費負担教員を募集します。
- 選考種別
 - 一般選考
 - 教職経験者特別選考
- 申込期限 令和6年1月5日(金)

- 確定申告書の提出方法 次のいずれかの方法で提出し
 - 確定申告書の作成方法 国税庁ウェブサイトの「確定申告書等作成コーナー」で、画面の案内に従って入力することで作成できます。
- URL <http://www.ntago.jp/>

所得税の確定申告

「医療費をたくさん支払った」、「年末調整ができなかった」などの理由で所得税を納め過ぎた人は、確定申告書の提出で還付を受けることができます。

なお、令和5年分の確定申告書を税務署に提出した人は、市・県民税の申告手続きが不要です。



〒989-5171
 栗原市金成沢辺町沖200番地 ☎(42)3512

- 電子申告(e-Tax)を利用し、スマートフォンまたは、パソコンから送信
- 郵送で仙台国税局業務センターへ提出
- ※自宅などで事前に作成した還付の申告書は、1月から提出することができます。
- 郵送先 仙台国税局業務センター
 〒980-8406
 仙台市青葉区上杉一丁目1番1号 仙台北税務署内
- 申告書作成について 築館税務署では、令和6年2月16日(金)から3月15日(金)まで、申告書作成会場を開設します。
- ※土・日曜日、祝日を除く
- 本人確認書類の添付 次のいずれかを添付してください
- マイナンバーカード(個人番号カード)の写し
- 個人番号通知カードの写しと運転免許証または、健康保険証などの写し
- 医療費控除の適用 医療費控除を受ける場合には「医療費控除の明細書」の添付が必須です。明細書を作成の上、申告してください。
- 納税について 便利な振替納税を利用してください。
- ※詳しくは、問い合わせいただく

- 試験日 令和6年1月14日(日)
- 試験会場 金成庁舎
- 試験方法
 - 一般選考 小論文、面接
 - 教職経験者特別選考 面接
- 採用区分、採用人数
 - 小学校教諭 10人程度
 - 中学校教諭 3人程度
- 受験資格
- 共通事項
 - 教育職員免許法に規定する小学校、中学校教諭の普通免許状を所有している人または、令和6年3月31日までに取得見込みの人
 - 地方公務員法第16条および学校教育法第9条の欠格条項に該当しない人
 - 教職経験者特別選考
 - 宮城県職員永年勤続者表彰を受けている人または、宮城県以外の自治体で同等の表彰を受けている人
 - 申し込み 受験案内と申込書は、金成庁舎2階学校教育課で配布します。
 - 申込書に必要事項を記入の上、学校教育課に持参または、郵送で提出してください。
 - ※郵送は、令和6年1月5日(金)当日消印有効
 - ※詳しくは、市ウェブサイトを確認していただくか、問い合わせ



市長随感

栗原市長 佐藤 智

行政のデジタル化に向けて

市では、デジタル社会に対応した行政サービスの実現を目指すため「栗原市デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画」を策定しました。計画では、書かない窓口や行かない窓口の実現、キャッシュレス決済の導入など、住民の皆さんの利便性向上を目指しております。

デジタルを活用したサービスの充実を図るためには、日ごろからその利便性に触れることが大切なので、私もスマートフォンやタブレット端末でさまざまなアプリを使っています。

事前の設定が少し手間に感じることがありますが、いざ使ってみると、どのアプリもとても便利です。スマートフォンで雨雲接近の通知を受け取ったり、みどりの窓口に向いて購入して

市では、デジタル社会に対応した行政サービスの実現を目指すため「栗原市デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画」を策定しました。計画では、書かない窓口や行かない窓口の実現、キャッシュレス決済の導入など、住民の皆さんの利便性向上を目指しております。

デジタルを活用したサービスの充実を図るためには、日ごろからその利便性に触れることが大切なので、私もスマートフォンやタブレット端末でさまざまなアプリを使っています。

事前の設定が少し手間に感じることがありますが、いざ使ってみると、どのアプリもとても便利です。スマートフォンで雨雲接近の通知を受け取ったり、みどりの窓口に向いて購入して

いた新幹線の切符をアプリで購入し、情報をひも付けたスマートフォンやICカードをかざして改札を通ることができたりと、生活のあらゆる面で快適さを実感しています。

今後、行政のデジタル化を進めていきますが、その効果を丁寧に説明したり、スマートフォン教室を開催したりしながら行いたいと思いますので、皆さんのご理解をお願いいたします。

▲市公式ラインも利用中

市内の文化財散策

② 甚兵衛墓

志波姫荒町地区にある甚兵衛墓、または順兵衛墓と呼ばれる墓地は、伊豆野堰の開削と管理に深く関わった加藤氏の墓域であるとされています。

伊豆野堰は、仙台藩二代目藩主伊達忠宗の新田開発政策により、当時原野だった伊豆野原を水田に変えるために造られた用水路です。

一迫清水ヶ袋地区で迫川の水を分水し、築館、志波姫、若柳まで全長五里十一町(21キロメートル)に及ぶこの堰は、正保三年(1646年)に完成しました。

この伊豆野堰を掘る際に、工事の指揮を執ったのが加藤甚兵衛であったと伝わっています。伊豆野堰の工事は、仙台藩の土木技師である川村孫兵衛元吉が設計を担当し、奉行職にあった古内主膳が、1日数千人の農民を動員して数年間かけて行われましたが、通水させようとしたところ水が流れなかったため、現場を指揮した甚兵衛がその責めを受け、牢に入れられました。

甚兵衛は、どうしたら水が

流れるかを牢内で考え、伊豆野堰の途中に滝を作ることを建言して通水に成功したとされています。その後、伊豆野堰は加藤氏の管理するところとなりました。

甚兵衛の本名はわかかっていませんが、苦労と工夫を重ねて通水に成功した伊豆野堰は、370年を経た今も変わらず、田畑に水の恵みを送り続けています。

所在地 志波姫荒町

問 教育部文化財保護課 ☎(42)3515



▲中央が甚兵衛墓